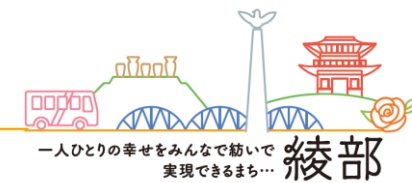


第2回旧市民センター跡地活用検討委員会資料

1. 第1回検討委員会での意見交換のまとめ
2. 活用方針について
3. 基本コンセプト(案)について
4. 整備方針(案)について
5. 参考事例

1. 第1回検討委員会での意見交換のまとめ



■第1回検討委員会概要

日 時：令和3年11月15日（月）15：00～

会 場：まちづくりセンター第1会議室

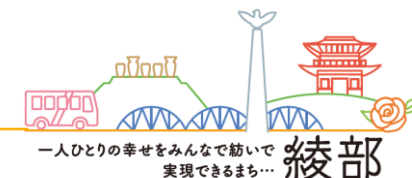
出席委員：山崎座長、有道委員、泉委員、木崎委員、久木委員、林委員、平野委員、
山下委員、山田委員、吉田委員、四方委員

■意見交換のまとめ

【整備範囲について】

意見要旨	備考
堤防との間にある私有地を買い上げて、堤防にすり付ける形で整備できるのが望ましい。	所有者との交渉・国土交通省との協議が必要であるが検討できると考えています。

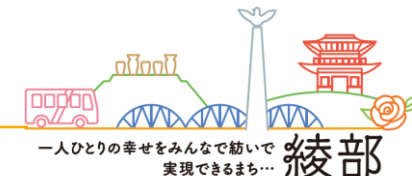
1. 第1回検討委員会での意見交換のまとめ



【活用方針について】

意見要旨	備考
市民の憩いの場、未来へ夢や希望をつなぐ活動の場として市民が広く活用できるような整備という方向で考えていくべき。	
建物を建てるなど今後大きく負荷がかかるようなことはすべきでない。	建物敷地とする場合、敷地や建築物の規模によっては、周辺道路の拡幅などが必要となり、現実的には困難と考えています。
交通の便が良くないので商業施設などには向かない。	交通量の多い幹線道路からのアクセス性がよくないので、商業施設となった場合、利用者の動線に問題があることや周辺環境への影響が大きいと考えます。
市民にも開放し、市外の人にも開放するというようなことで考えるべき	
風光明媚なところであり、花火の観覧にも良い。	
まちなかの公園が少ない、紫水ヶ丘公園は少し遠いので、（まちなかから）歩いて行ける公園がよい。	綾部市立地適正化計画においても、居住環境の向上のため、まちなかでの公園を整備検討することになっています。
近所の高齢者もみんなで集える公園がよい。	

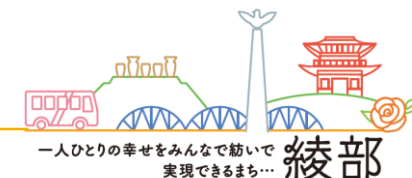
1. 第1回検討委員会での意見交換のまとめ



【活用方針について】 つづき

意見要旨	備考
人が来て和めるような場所。	
市街地でこれだけのまとまった土地が確保できるというのは貴重。景色も良く、広大な土地を活かした活用が望ましい。	
市街地に魅力的な公園があることによって、まちなか居住の促進にもつながる。	
社会福祉協議会の移転場所としてどうか。	由良川の浸水想定区域（想定最大）に位置しており、敷地そのものはかさ上げしたとしても、周辺は浸水する可能性があります。施設の性格を考えると浸水リスクの少ない場所で検討する必要があると考えます。その点を踏まえ、移転を考える場合には、市の公的資産全体のなかで既存施設の活用も含め検討します。

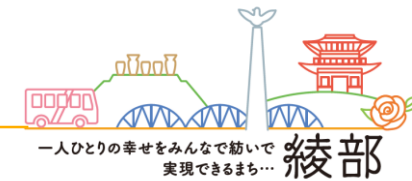
1. 第1回検討委員会での意見交換のまとめ



【整備内容について】

意見要旨	備考
子どもがのびのびと遊べる公園を作ってほしいとの意見が多い。	
花火を観覧しやすいように階段状に座れる造りとしては。	
三世代が集える公園・運動場がよいのでは。	
何に整備するとしても、トイレなどの設備は必要。	
高槻の駅前にできた広い公園のようにかわいらしいショップ、カフェなども併設した、子供を連れていきたくくなるような気持ちのいい公園。	高槻駅前の安満遺跡公園の写真を参考事例として示しています（本資料9ページ）。
何かを目的とした公園。カフェとか、サービスエリアなどでもキッズコーナーやドッグランがあるところは賑わっている。	
ちょっとした花壇などを作り、広いままで利用できるようなものもいい。	

1. 第1回検討委員会での意見交換のまとめ



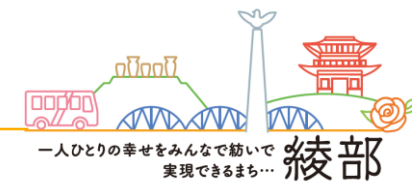
【まとめ】

市民の憩いの場ということと、未来へ夢や希望をつなぐ活動の場として、市民が広く活用できるような整備を行う。

施設(建物)等の敷地としての利用は、周辺状況、整備費用、維持管理費などの観点から現実的でない。

公園整備などの方向でたたき台を作成し、検討を行う。

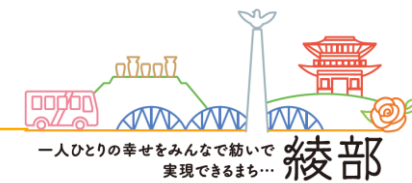
2. 活用方針について



旧市民センターが、56年に渡り文化・スポーツの場として、多くの市民に親しまれてきた場所であったことを踏まえ、今後も市民活動や憩いの場となり、未来へ夢や希望をつなぐ場所となることを目標とします。

多目的に利用でき、様々な世代が集え、人と人とのふれあいや新たなにぎわいを生み出す公園として整備します。

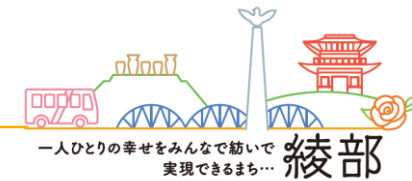
3. 基本コンセプト(案)について



子どもからお年寄りまで様々な世代が集い、市民の工夫により多目的に利用することで、人々が集まり、未来へ夢や希望をつなぐ魅力あふれる公園づくりを目標とし、以下のように設定します。

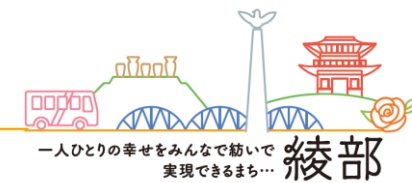
**誰もがいきいきと気持ちよく過ごせる
「未来へ夢や希望をつなぐ公園」**

4. 整備方針について



- 綾部の美しい景観や魅力を体感でき、心が安らぎ潤う公園づくり
- 人々が集い、多世代による交流が生まれ、和み、憩いの場となる公園づくり
- 誰もがいきいきと活動できる、多面的な機能を持つ公園づくり
- 人々に愛され、気軽に訪れたいくなる公園づくり
- バリアフリー化やユニバーサルデザインにより誰もが利用しやすい、未来を見据えた公園づくり

5. 参考事例



・ショップ、カフェなども併設した公園の例

安満遺跡公園（大阪府高槻市）

・まちなかの多目的広場

大久保公園（東京都新宿区） 虎渓用水広場（岐阜県多治見市） 警国公園（福岡県福岡市） 天理駅前広場（奈良県天理市）

・まちなかの芝生広場(ショップ併設)

南池袋公園（東京都豊島区）

・まちなかの公園(ショップ、園路)

草津川跡地公園（滋賀県草津市）

・野外ステージ・客席

利賀芸術公園（富山県南砺市） 姫路シロトピア記念公園（兵庫県姫路市） テアトロン（香川県さぬき市）

・ドッグラン

香恋の館（愛知県豊田市） 桜ヶ丘公園（東京都多摩市）

・コンテナハウス

わいわいコンテナ（佐賀県佐賀市）

■市民意見募集等での公園関連の意見

公園全体のイメージ	自然公園、川の中の公園、さかな公園、飲食店付き公園、ふれあい牧場、防災エリア、お花見
広場関連	多目的広場、芝生・水無月まつりの会場、屋外イベントスペース、花火を見る場所
自然関連	花畑、バラ園、桜、紅葉、ひまわり、藤棚鑑賞型菜園
遊具等	砂場、遊具、ジップライン、アスレチックパーク、ドッグラン施設
その他の施設	ステージ、キャンプ場屋台、噴水水辺、救急搬送ヘリポート

提案内容	提案に対する思い（要旨）
綾部高校の農場 農産物販売所 綾高カフェ	現在の綾部高校由良川キャンパスの畑等は不十分のため、旧市民センターを綾高の畑にすることで、これまで以上に充実した高校生活が過ごせるのではないかと期待している。これから大切になるであろう農業・園芸・農芸化学を京都府と綾部市で力を合わせて、田園都市綾部へ一歩進んでほしい。
半円形劇場 野菜・手芸販売所 災害用救援物資倉庫	地味だけれども落ち着く、役に立つ、参加できる、と少しでも感じられる跡地利用になることを期待。
駐車場 憩える場所 緑豊かな場所 学べる場所	由良川の魅力もあがるような、農業がますます魅力的になること綾部市がますます魅力的になる近い未来に思いをはせて。
ステージ 広場 花火の観覧場	日ごろから自由に利用できる空間になってほしい。
屋外マーケット イベント会場 農産物販売所 サバイバルゲーム、花火観覧場 ドライブインシアター	現在は公共スペースのため、目標は公共性に貢献できればと考えます。外部の関係者を取り込み、集客する。外部の人に好きになってもらう。移住者の獲得につなげる。コロナ禍で市内の中でも人と人のつながりが薄れている。会話を生み出し、またやりたいといってもらえるイベント。

提案内容	提案に対する思い（要旨）
ドッグラン	大きなドッグランができれば人気が出て他府県からも集客が見込める。
鑑賞型菜園 貸し農場	「公開鑑賞型菜園」により、憩いの場所とするとともに、綾部高校との共同取り組みとして実施し、教育の場として、若い才能の表現の場として活用してもらおう。
老いと幼の交じりの苑	長い間、老若男女・幼児まであらゆる面で育ててくれた市民センターに深く感謝し、それに代わる艶やかな姿を見たい。紫水ヶ丘公園、平和塔が望め、水無月の花火も由良川も見渡せる場所。
公園	紫水ヶ丘公園が見渡せ、花火も観覧できる。 市民みんなが集える場所になってほしい。
花火観覧場	水無月まつりの花火が2年連続で中止となり、とても残念に思った。テレビで、全国各地の花火の映像は見たが、やはり自分の目で見て、音を聞いて夏を体感したい。
テーマパーク	「国際平和都市・綾部市」がその本来の役割を果たして行ける相応しい機能を備えた跡地利用になるために。
花と緑の市民公園	市民の環境意識の高揚や花と緑のまちづくりによる環境思想の普及が重要になってくる。また、現在実施している花づくり等の園芸関係講座を継続的に実施できる場としても活用し、市民の文化活動の普及促進と環境に対する意識の高揚に努めたい。
スポーツパーク （フットサル・バスケットボール・スケートパーク）	綾部市でフットサルコート、バスケットボールコート、スケートパークはあまり見かけないが、それがあ地域は競技人口が多くレベルが高い。今後競技人口が増えると予想され、ほかの地域にない施設を作る人が集まる環境づくりは綾部市の魅力の一つとなる。
ゆらがわ公園	由良川の河畔にあり、綾部の風物詩、花火大会も間近に見られる絶好のロケーション、また綾部高校由良川キャンパスで学ぶ生徒たちの若い力を借りて、世代を問わず楽しめる公園にしたい。
川の流れの中で遊べる公園	綾部には子供たちが入って魚とりをしたりするような小川がない。京都市内の高野川のように。
フリーマーケット	中丹文化会館の前で開催していたときに行ってみて、楽しかったので。

提案内容	提案に対する思い（要旨）
イベントスペース	<p>風通しのいい場所。 一人一人の思いが実現できる未来を目指す。 市内の公民館や市民センターは使い方がわからない、機能的でない。小さな子供から高齢者まで使うことが可能で、より自由度の高いものに。 「住みやすいは」どんどん変わる。この場所も使い方をどんどん替えられるところになれば。 活用案が決まったら、一般市民も場所づくりに関わることができるとよい（ワークショップ）。</p>
公園 多目的ホール 会議室	<p>蚕都の面影が残り、高齢者に安らぎを与える公園など、多くの市民に親しまれる場所として再びよみがえらせる。</p>
スケートボード・ BMX・クライミング施設	<p>五輪人気で高まり、綾部駅などでの迷惑行為が増えてくるのを防止する。練習場所を設けることで、子どもたちの健全育成につなげる。</p>
公園	<p>綾部市には子どもを安全に遊ばせる場所が紫水ヶ丘公園ぐらいしかない。綾部市の発展にもつながる、イベントや花火の観覧など、多様性のある場所になってほしい。</p>